

単元名 5 自らの考えを 一初恋

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読することができる。
 (2) 文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像することができる。
 (3) 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとする。

標準的な展開例

12210212_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○初恋というものについて、意見交流を基に具体的にイメージする。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★言葉の響きやリズムを味わいながら朗読しよう。 ○教師の範読を聞き、詩全体のイメージをつかむ。 ○リズムや響き、表現上の工夫について、朗読を通して気付いたこと、考えたことを交流する。 ○詩に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。 ○言葉の響きやリズムを味わったり、表現上の特徴を考えたりしながら朗読する。 ○朗読を発表する。 ○学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初恋という言葉から浮かぶ印象や言葉を、全体で意見交流しながら、具体的にイメージできるようにする。 ・初恋のイメージを思い浮かべながら聞くように指示する。 ・繰り返し朗読する中で、リズムや響き、表現上の工夫について気付いたことを挙げさせる ・詩に読まれた情景と詩の中の人物の心情を想像させる。 ・「初恋」という詩から読み取った思いと自分の経験を結び合わせて想像させる。 【評】表現された情景や心情を想像する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・工夫する点を明確にして朗読させる。 ①七五調のリズムを味わいながら朗読する。 ②1連～4連に至る恋の進展をイメージしながら朗読する。 ③文語体の言葉の響きに注意しながら朗読する。 【評】朗読する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・全体の場で朗読を発表させる。 ・自分の朗読や友達の朗読について、振り返りを書かせる。

【 備 考 】

文章を読むときには、内容の信頼性や客観性を吟味し、自分の知識や経験と比べて納得できるか否かを検討して、批判的に読むことが大切である。同じテーマに関する二つの文章を比較しながら、評価することを通して、批判的に読むことを学ばせたい。さらに、自らの考えを批評文として書くことで、説得力ある文章にするための工夫を学ばせたい。多様な考え方の中で対象を評価することで、自分の考えを確立させていきたい。

また、こうした学習と関連させながら、社会的な課題などについて、違う立場からの意見を生かし合い、論理的に合意を形成する話し合いの仕方も学ばせたい。